

# 早稲田大學東洋哲學會大會の御案内

拜啓 新緑の候、皆様におかれましては、愈々御清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、早稲田大學東洋哲學會第三十二回大會を、左記の通り開催致しますので、  
なにとぞ御出席賜りますよう御案内申し上げます。

敬具

平成二十七年五月七日

早稲田大學東洋哲學會

各位

## 記

早稲田大學東洋哲學會 第三十二回大會

〈日時〉 六月十三日（土曜日）午後一時より

〈会場〉 早稲田大學文學學術院 三十三號館三階 第一會議室

〈プログラム〉

○研究発表（午後一時より）

一、宋代天台における六即説の展開——六即と理事兩種三千の對應關係をめぐって——

早稲田大學大学院博士後期課程

久保田正宏

一、智儼撰『金剛般若經略疏』の思想的位置づけについて

早稲田大學大学院博士後期課程

櫻井 唯

一、張湛『列子注』の覺夢と神人

早稲田大學大学院博士後期課程

富田 繪美

一、修養論に見る明清期思想轉換の様相——「改過」説と「慎習」説に即して——

學習院大學共同研究員 原 信太郎アレシヤンドレ

一、アーラヤ識説導入と禪定の體驗との關係について

早稲田大學教授

山部 能宜

○講 演（午後四時より）

一、『老子』の形而上學と「自然」——北京大學簡に基づいて——

東京大學名譽教授・山東大學名譽教授

池田 知久

○總會（午後五時三十分より）

○懇親會（午後六時より）

會場 戸山カフェテリア

會費 三〇〇〇圓

## 【追記】

※ 大會當日の御連絡は、文學學術院教員室（電話 〇三―三二〇三―四一一三）まで、御傳言願います。